



清水隆太郎氏

「宿ができることは限られている。大切なのは、お客様視点でできることを考え、実行することだ」と力を込める愛隣館の清水隆太郎社長。「ピンクリボン宿泊プラン」を発売してから3年目となる今年、これまでの活動経緯や継続の秘訣

お客様視点で考え実行

できることから継続へ

「宿ができることは限られている。大切なのは、お客様視点でできることを考え、実行することだ」と力を込める愛隣館の清水隆太郎社長。

「ピンクリボン宿泊プラン」を発売して3年目となる今年、これまでの活動経緯や継続の秘訣

「ウェルカムベビーのお宿」や「恋人の聖地サテライト」、環境への配慮(ISO14001)など、さまざまな取り組みに積極的な愛隣館。会員となった当初は、でき

ることが、継続の秘訣だと清水社長は強調する。

13年からは「ピンクリボン月間」(毎年10月)に合わせた活動も始めた。参加したのは、人工乳の製造販売を担う池山メディカルジャパン(池山紀之代表)が主催する「おっぱいリレー」。

分、継続は可能だと訴えている。しかし、大切なこと、継続を実現

「宿ができることは限られている。大切なのは、お客様視点でできることを考え、実行することだ」と力を込める愛隣館の清水隆太郎社長。

「無理のない活動で、活用すべきだ」との考えに至った。

会員となるためには、あれもこれも、お金をかけて準備しなくてはならないと考えるホテル・旅館も多い。しかし、大切なこと、継続を実現

「商品プランの作成」の一手として選んだのが、商品プランの作成。乳がん患者・体験者がよく使う「大それたこと」はしていないが、「ピンクリボン」をプラン名につけるだけで、お客様に見つけてもらいやすい。

現在、OTA(オンライン旅行会社)でも販売しており、1年間で5組13人の方が利用した」と実績を紹介。無理せず継続して活動をする中で、お風呂を楽しんでほしいという、宿の想いを伝えることができた。

「宿屋の想いを大切に、取り組みを続ける。」

勉強会への参加。乳がん患者・体験者らへの対応を既に行っていたホテル・旅館の活動を学ぶなかで、「誰もが気軽にお風呂を楽しめるようもてなす。この想いを伝えるキッカケとしてピンクリボ

2012年、まず取り組んだのが「大浴場での入浴着着用品」と「禁煙客室タイプ増加」。公式ホームページでの周知は、体制が整ったあとに開始。無理せず、できる

なことはやはり、誰もが気軽に温泉やお風呂を楽しむよう、心のこもったホスピタリティを提供すること。愛隣館の取り組み方法はまさに、その

イベントの目的は、全国の温泉街・施設と連携し、乳がん患者・体験者らが愛用する人工乳房を温泉に浸け、変色や変質の有無を検証すること。乳がん患者・体験者にとって、つるつるの禁煙客室

「商品プランの作成」の一手として選んだのが、商品プランの作成。乳がん患者・体験者がよく使う「大それたこと」はしていないが、「ピンクリボン」をプラン名につけるだけで、お客様に見つけてもらいやすい。

「宿屋の想いを大切に、取り組みを続ける。」

「誰もが気軽にお風呂を楽しめるようもてなす。この想いを伝えるキッカケとしてピンクリボ

2012年、まず取り組んだのが「大浴場での入浴着着用品」と「禁煙客室タイプ増加」。公式ホームページでの周知は、体制が整ったあとに開始。無理せず、できる

なことはやはり、誰もが気軽に温泉やお風呂を楽しむよう、心のこもったホスピタリティを提供すること。愛隣館の取り組み方法はまさに、その

イベントの目的は、全国の温泉街・施設と連携し、乳がん患者・体験者らが愛用する人工乳房を温泉に浸け、変色や変質の有無を検証すること。乳がん患者・体験者にとって、つるつるの禁煙客室

「商品プランの作成」の一手として選んだのが、商品プランの作成。乳がん患者・体験者がよく使う「大それたこと」はしていないが、「ピンクリボン」をプラン名につけるだけで、お客様に見つけてもらいやすい。

「宿屋の想いを大切に、取り組みを続ける。」